

新 **未来** 「創造」 とくしま行動計画

「一歩先の未来」を具現化する

人口減少や超高齢化問題に直面する中、「オンリーワン徳島」の実現に向けて県はこれまで、切迫する南海トラフの巨大地震を迎え撃つ「とくしまゼロ作戦」の加速化や、県民医療の最後の砦となる県立3病院の改築をはじめとした安全安心の確保、全国屈指の光ブロードバンド環境による情報通信関連産業の集積といった本県の強みを活かした経済成長戦略の展開、そして本四高速道路への全国共通料金制度の導入の実現など各種施策の推進に全力で取り組んできました。

県ではこれらの実績をベースとして、徳島ならではの取組みに更に磨きをかけながら、将来の本県が目指すべき姿と、その実現に向けてこれから4年間で取り組む施策を示す「新未来『創造』とくしま行動計画」を策定しました。

「可能性の宝庫・徳島」の魅力をもう一段高い次元へ進化させるとともに、課題解決の処方箋を徳島から全国に発信し、地方創生、ひいては日本創成を実現する「とくしま回帰」の流れを創出することにより、全国に先駆けた「一歩先の未来」を県民の皆様とともに歩み、世界に“新しい価値観”を発信する「オンリーワン徳島づくり」を進めます。



徳島県知事
飯泉 嘉門

オンリーワン徳島の実現

計画の体系

新未来「創造」とくしま行動計画は、2060年頃を展望し、「徳島の目指すべき将来像」を示した「長期ビジョン編」、10年程度先を見据えた「中期プラン編」、当面取り組むべき重点施策を示した「行動計画編」の三層構造からなっています。

長期 ビジョン編

将来ビジョン 2060年頃の「目指すべき将来像」

- 世界へ発信「笑顔のTOKUSHIMA」
- 世界に誇る「強靱なTOKUSHIMA」
- 世界とつながる「創造のTOKUSHIMA」

中期プラン編 (平成36年頃)

5つの目指すべき姿

手の届く未来である「10年程度先」を見据えた「近未来の成長戦略」

- みんなが輝くとくしまの創造
- 安全安心とくしまの創造
- 環境先進とくしまの創造
- 経済好循環とくしまの創造
- 世界へはばたくとくしまの創造

行動計画編 (平成27～30年度)

7つの基本目標

当面取り組むべき重点施策

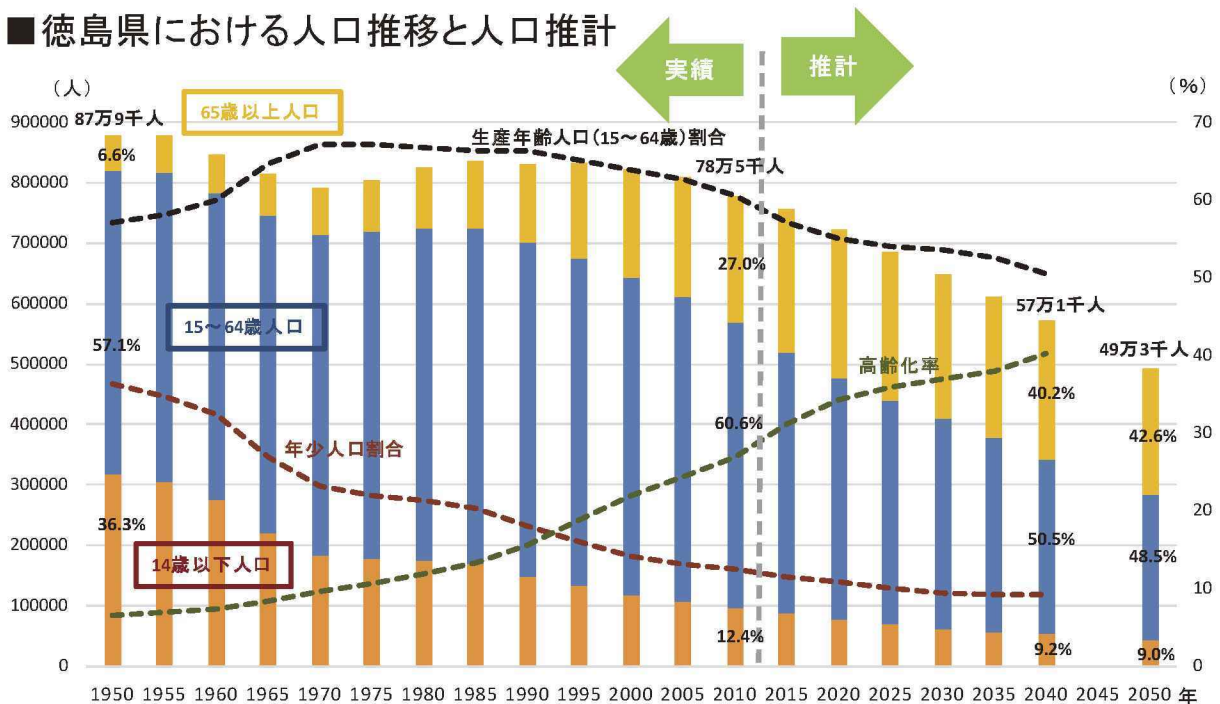
- 「ふるさと回帰・加速とくしま」の実現
- 「経済・好循環とくしま」の実現
- 「安全安心・強靱とくしま」の実現
- 「環境首都・新次元とくしま」の実現
- 「みんなが元気・輝きとくしま」の実現
- 「まなび・成長とくしま」の実現
- 「大胆素敵・躍動とくしま」の実現

長期ビジョン編 (2060年頃の目指すべき将来像)

我が国の財政は国・地方ともに極めて深刻な状況にあります。厳しい財政制約のもと、様々な課題と対峙していくためには、中央集権体制、東京一極集中を打破し、心の豊かさやゆとりを重視した“新しい価値観”に基づく新たな社会経済システムを創出していく必要があります。

本県は人口減少を正面から受け止め、豊かな地域社会と多様な人材、魅力ある産業の創出といった“TOKUSHIMA 創生”に積極果敢に挑戦し、徳島から“新たな価値”として世界に発信していくことが求められています。

徳島県における人口推移と人口推計



(出典)総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」、2050年値は、国土交通省「国土のグランドデザイン2050」(結果をもとに徳島県が一部再集計) ※端数処理のため合計が合わないことがある。

将来ビジョン

(1) 世界へ発信「笑顔のTOKUSHIMA」

一人ひとりが夢や希望を持ち、それを実現できる「ひと」を創生する、県民誰もが「笑顔」あふれる社会

(2) 世界に誇る「強靱なTOKUSHIMA」

豊かな自然に育まれつつ、その脅威から命を守る「まち」を創生する、安全安心に抱かれた「強靱」な社会

(3) 世界とつながる「創造のTOKUSHIMA」

国内外から、魅力的な「まち」に意欲的な「ひと」を呼び込み、未来を切り拓くイノベーションの渦を巻き起こす「創造」に満ちた社会

人口減少のスピードに歯止めをかけ、2060年に“60~65万人超”を確保します！！

中期プラン編 (手の届く未来である「10年程度先」を見据えた「近未来の成長戦略」)

計画の基本理念に基づき将来ビジョンを実現するために、手の届く未来である「10年程度先」を見据えた5つの「目指すべき姿」の創造を進めます。

I みんなが輝くとくしまの創造

<目指すべき10年程度先(2025年頃)の姿>

結婚や出産に関する希望が叶い、安心して子どもを産み育てられるとともに、生涯現役の元気高齢者が活躍し、子どもから大人まで、みんなが輝いている徳島

<実現のための主な施策の方向性>

地域の実情に応じた男女の出逢いの場づくり、子育て家庭のニーズに応じた多様かつ総合的な支援、高齢者自らが描いたライフプランに応じた生きがいづくりを支援

II 安全安心とくしまの創造

<目指すべき10年程度先(2025年頃)の姿>

県全体の地域防災力が強化されるとともに、南海トラフ巨大地震や複数の災害が同時に起こる広域的な複合災害に対応できる安全安心な徳島

<実現のための主な施策の方向性>

大規模災害に備えた広域的な連携強化、自助・共助をはじめとした自主防災組織の活動活性化、地域や企業における防災リーダーの養成、活動支援

III 環境先進とくしまの創造

<目指すべき10年程度先(2025年頃)の姿>

エネルギーの安定供給を図るとともに、温室効果ガスをほとんど出さない自然エネルギーが様々な分野で最大限活用され、環境先進である徳島

<実現のための主な施策の方向性>

エネルギーの地産地消に向け、県民、事業者、行政等が一体となり様々な取組みを行い、自然エネルギーの導入を促進するとともに、景観に配慮したまちづくりを推進

IV 経済好循環とくしまの創造

<目指すべき10年程度先(2025年頃)の姿>

本県ならではの地域資源や技術力を活かした魅力ある製品・サービスが海外ビジネスとして世界中で受け入れられ、経済が好循環している徳島

<実現のための主な施策の方向性>

広域や海外市場における商談会や情報発信など、その販路開拓に加え、輸出国・輸出品目の重点化、輸出品目と輸出量の拡大や輸出型産地形成などを強力に推進

V 世界へはばたくとくしまの創造

<目指すべき10年程度先(2025年頃)の姿>

豊かな自然、新鮮な食材、阿波おどり、歩き遍路といった伝統文化、農山漁村での体験プログラムなどが国内外で知られ、観光客でにぎわっている徳島

<実現のための主な施策の方向性>

観光資源を掘り起こし、磨き上げ、魅力ある取組みを支援するとともに、陸・海・空や多言語表記など受け入れ体勢の充実や国内外への積極的なPR活動により誘致拡大

基本目標 1

「ふるさと回帰・加速とくしま」の実現

人口減少の克服と東京一極集中の是正による「地方創生」に向け、本県が誇る光ブロードバンド環境で実現した柔軟な「働き方」や充実した「社会福祉施設」、基幹産業である「農林水産業」を最大限活用し、東京はじめ大都市からの人口移動を促すとともに、安心して次世代を育むことができる環境、他に先んじた行政手法で全国から注目される「ふるさと回帰・加速とくしま」の実現を目指します。



消費者庁業務試験の様子



消費者庁とのテレビ会議の様子

消費者行政新未来創造オフィスの設置・運営の支援

●重点戦略1 とくしま回帰！魅力あふれる「まち」の創生

- サテライトオフィス進出地域の拡大 (累計)
[H25] 4市町村 → [H30] 市町村の半数
- 「徳島阿波おどり空港」国際ターミナル機能の創設
[H29] 供用開始
- 全ての人々に対する生活・福祉サービスを展開できる
「ユニバーサルカフェ」(多世代交流・多機能型ワンストップ福祉拠点)
の整備箇所数 (累計) [H30] 7箇所 (全6圏域)



完成イメージ

徳島阿波おどり空港機能強化

●重点戦略2 とくしま回帰！意欲あふれる「ひと」の創生

- 転入・転出者数 [H25] 転出超過 → [H32] 均衡
- 移住者数 [H25] 80人 → [H31] 850人
- 移住体験ツアーの実施 [H29、H30] 年間4回



移住就農者(きゅうりタウン構想)

●重点戦略3 とくしま回帰！新たな人の流れをつくる「しごと」の創生

- 本県への本社機能誘致数 [H30] 4社
- 消費者庁の「消費者行政新未来創造オフィス」の設置・運営の支援
[H29~] 設置・運営支援
- 徳島県の輸出額 (徳島県貿易・国際事業実態調査、中小企業分)
[H25] 150億円 → [H30] 170億円
- まち・ひと・しごと創生法に基づく「総合戦略」による雇用創出数
(H27からH31までの累計) [H31] 4,000人

●重点戦略4 結婚・出産・子育て支援の進化

- 結婚支援拠点が管理する男女の出逢いの場等への参加者数
[H30] 1,500人
- 待機児童の解消 [H25] 41人 → [H29] ゼロ
- 病児・病後児保育実施市町村数
[H25] 16市町村 → [H30] 全市町村



I C T ママ養成講座

●重点戦略5 国に先んじた行政手法の進化

- 地方創生に関する「政策提言」の実現比率 [H30] 80%
- 「徳島版地方創生特区」の創設 [H31] 10区
- 県庁ふれあいセンター「すだちくんテラス」の創設 [H29] 創設

基本目標 2 「経済・好循環とくしま」の実現

徳島の強みLEDと光ブロードバンドの「二つの光」を最大限に活かした経済成長戦略の展開、新産業創出の礎となる科学技術の振興を図るとともに、国内外の産地間競争を勝ち抜く「もうかる農林水産業」づくり、農工商連携による6次産業化を進め、徳島に集う「ひと」が、新たな「しごと」を生み、新たな「まち」を創り出す「経済・好循環とくしま」の実現を目指します。



レストラン



宿泊施設

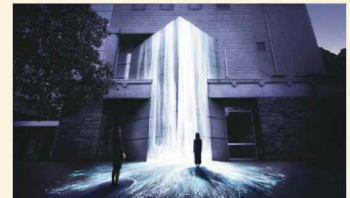


外観

Turn Table (とくしまブランドギャラリー) イメージ図

●重点戦略1 「二つの光」を軸にした成長戦略の展開

- LED応用製品の海外市場開拓数(累計) [H30] 10か国
- 情報通信関連企業(コールセンター、データセンター等)の集積数 [H25] 18事業所 → [H30] 36事業所
- 「LEDアートミュージアム(仮称)」の創設 [H30] 創設



LED・デジタルアート作品(文化の森)

●重点戦略2 経済加速とくしまづくりの進展

- 県がサポートする県外・海外商談会及びフェアにおける成約・売上額 [H25] 2.2億円 → [H30] 4.4億円
- 県内で新たに創業する者への事業計画等の支援件数 [H25] 61件 → [H27~H30] 年間70件以上
- 創業に関する講座の受講者数 [H25] 327人 → [H30] 年間800人以上

●重点戦略3 未来を拓く科学技術の振興

- 徳島県内「科学技術」関連イベント数 [H25] 45回 → [H30] 300回
- 川口ダム自然エネルギーミュージアムとその周辺施設が連携する「スマート回廊」の年間延べ体験者数 [H30] 12,000人
- 生活支援ロボットの市場投入 [H30] 投入



川口ダム自然エネルギーミュージアム(映像展示室)

●重点戦略4 もうかる農林水産業の飛躍

- 農畜水産物産出額 [H25] 1,203億円 → [H30] 1,310億円
- 次世代「新鮮なっ!とくしま」号の導入 [H30] 導入
- 「とくしま特選ブランド」選定数 [H25] 57品 → [H30] 100品

●重点戦略5 6次産業化・とくしまブランド海外展開の推進

- 農工商連携等による6次産業化商品開発事業数(累計) [H25] 135件 → [H30] 300件
- 「とくしまブランド」輸出相手先国・地域数 [H25] 9か国 → [H30] 20か国
- 県産材の海外輸出货量 [H25] 1,760m³ → [H30] 10,000m³



食品見本市「Gulf Food」(ドバイ)徳島ブース

基本目標 3 「安全安心・強靱とくしま」の実現

南海トラフ巨大地震や豪雨災害など、これらの複合災害から県民の生命・財産を守る「防災・減災対策」とともに、平時・災害時のつなぎ目のないシームレスな「災害医療」の取組みを加速し、全国のモデルとなる安全安心なくらしを日々実感しながら生活できる、強く、しなやかな「まち」を創り出す「安全安心・強靱とくしま」の実現を目指します。



写真 国土交通省四国地方整備局
小松島インターチェンジ（仮称）周辺

●重点戦略1 みんなで守るとくしまの推進

- 「防災士」登録者数(累計)
[H25] 832人 → [H30] 2,300人
- 県立学校における防災士の資格を有する教員の配置率
[H30] 100%
- 「快適避難所運営リーダーカード」交付者数(累計)
[H30] 150人



徳島県総合防災訓練

●重点戦略2 進化する「とくしまゼロ作戦」の展開

- 徳島東警察署を核とした「新防災センター」の整備 [H30] 整備着手
- ヘリサットを装備した次世代消防防災ヘリコプターの配備 [H29] 運用開始
※ヘリサット：人工衛星を活用した地上中継局不要の最新鋭映像伝送システム
- 老朽危険建築物（空き家等）除却戸数(累計) [H25] 84戸 → [H30] 840戸

●重点戦略3 強靱で安全な県土づくりの推進

- 四国横断自動車道（徳島JCT～徳島東間）の整備 [H31] 供用
- 徳島自動車道（阿波PA付近 延長7.5km）の付加車線設置 [H30] 工事促進中
- 四国新幹線実現に向けた機運醸成に係るPR活動回数
[H25] 2回 → [H27～H30] 年間2回



四国横断自動車道(吉野川渡河部)

●重点戦略4 「戦略的災害医療プロジェクト」のさらなる展開

- 災害派遣医療チーム（DMAT）の体制整備
[H25] 21チーム → [H30] 27チーム
- 災害派遣精神医療チーム（DPAT）の体制整備
[H29] 19チーム
- 「災害医療遊撃隊（消防学校教官）」による最新資機材の整備
[H27～H30] 整備・充実



新海部病院(高台移転)

●重点戦略5 守り抜く！くらし安全安心セーフティーネットの構築

- 農水省GAPガイドライン準拠以上の認定件数(累計) [H25] 14件 → [H30] 30件
- とくしま食品表示Gメンの立入検査件数 [H29] 年間3,200件
- 街頭犯罪発生件数 [H25] 2,044件 → [H30] 25年対比で抑止(減少)